

# 九条だより

第142号

北広島九条の会 2019.10.01 発行  
事務局 梁川彰博 (ヤガワ アキヒロ)  
TEL・FAX 375-9600  
メール kitahiro-9jounokai@live.jp  
ホームページ <http://kitahiro9.org/>

北広島九条の会第13回総会のご案内

10月14日 (月・祝) 午後2時～  
芸術文化ホール 活動室

記念講演 「今、憲法を考える」

う え だ ふ み お

上田 文雄 さん 弁護士 元札幌市長

資料代 200円 (高校生以下無料)

◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇

＜9月19日、「安保法」＝「戦争法」強行4年＞

30人の市民が「私たちは忘れない あきらめない」と訴え

あの「安全保障法」＝「戦争法」が国会で強行成立させられて4年目をむかえた9月19日(木)の午後4時、JR北広島駅西口街頭で標記の集会が開かれ、30人の市民が「安保法廃案」まであきらめないと抗議の声をあげました。『安保法制を廃止し立憲主義を回復する市民連合北広島』が主催しました。西の里・虹ヶ丘憲法九条の会の塩崎共同代表があいさつ、立憲民主、共産、市民ネット、3人の市議会議員が訴えました。大曲のお寺のご住職が「仏教の教えはすべての生きとし生けるものを殺傷してはならない」と、また共栄町の主婦は「平和を願う女性たちの気持ち」と、ともに「安保法廃止」への決意を述べました。毎月のこの日、「19の日」行動を積み重ねてきました。一日雨模様でしたが、この瞬間だけ晴れ間が覗くという幸運でした。

◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇

**9月例会 「なぜ記者は事実・真実を書かないのか」**

9月7日(土)団地住民センターにおいて、31名の市民の皆様が参加、第77回例会を開きました。この衝撃的といえる演題でお話をされたのは、元北海道新聞編集委員であり現在もジャーナリストとして広く活躍されている、往住嘉文(とこすみよしふみ)さんです。

「もし、あなたが記者ならどう記事を書くか」、と往住さんは問いかけ、参加者から広く意見を聞というやり方で話を進めました。

「安倍晋三だけは絶対に首相にしてはならない。なぜなら奴は恥知らずだから。」という後藤田元官房長官(中曽根首相当時)の言葉を紹介し、往住さんは、「安倍政権はメディア戦略がうまいのではなく、ただの恥知らずだ」と断じます。特に「首相

の単独インタビュー」における安倍首相の厚顔なメディア戦略は、報道に大きな打撃を与えました。これまで、歴代首相が恒例にしていた、首相単独インタビューの順番は各社持ち回りという厳格なルールを安倍首相は一方的に平気で破り、以降、単独インタビューの争奪戦は、首相に取り入るジャーナリストとそれを厚遇する報道局という構図をつくりました。「1・6・3K」 {1: NHK 岩田明子・6: TBS 山口敬之・3K: 産経新聞 阿比留留比 (あびるるい) } といわれるものです。(元 TBS 山口敬之に関しては、伊藤詩織さん事件で、逮捕直前で中村内閣官房 (元警察庁 OB) の一声で取りやめとなったとされ、安倍政権が警察の現場を指示できることをしられました。)

日本のリベラル系英字新聞であるジャパントイムスは、「アンチジャパントイムスでは存続できない」と安倍批判のコラムを書く記者を解雇することで首相単独インタビューを実現し、また「徴用工」、「慰安婦」などの英語表現を政府寄りの表現に変更しました。「あいちトリエンナーレ」では、その中止の理由として主催側は「ガソリンをまく」などの脅迫に対する「安全確保」を強調していますが、抗議・脅迫の理由は、「平和の少女像」と天皇のカラーズの 2 作品に対するものが大半であり、政治的な問題が絡んでいることがうかがわれます。現在の報道は、問題のすり替えが疑われるところがあり、往住さんからは、問題の核心は何か、ジャーナリストとして何を伝えるべきか、という目で記事を見てほしいと話をされました。

ジャーナリストは、権力のチェックがその大きな仕事です。しかし、現在、右翼等による激しい苦情や脅しの攻撃とそれを容認するような政府の姿勢により厳しい状況になっています。これに対抗するには、ジャーナリストは、タフな精神と勉強、時には命がけの覚悟が必要、といいます。往住さん自身も、脅迫や実際に車の窓を 2 回割られた経験があるということです。私たち市民ができることは、いい記事があったら報道各社にメールやファックスなどかたちの残る激励を送ることです。それにより記者は仕事がしやすくなります。

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

◎お知らせ 市民の戦争体験を伝

える「バトンタッチ」第 8 集が刊  
行されました。玉稿をお寄せいた  
だいた市民の方は 13 名、特別企画  
として「旧陸軍通信所シンポジウ  
ム」の記録が掲載されています。  
頒価 300 円。ぜひご覧ください。

◎ホームページへの投稿を呼びかけています。「憲法と私」のコーナー。形式は問いません。イニシャル掲載。

◎募金のお願い。会員制をとっていません。活動は皆さんの浄財が頼りです。是非ご協力をお願いします。郵便振込み口座・北広島九条の会

平和五七五 (灯火会) の句会から  
ルピナスや群れ咲くここに人は無し草子  
焚木割るいそいそいと冬用意 泉  
忙終わり朝露ためた花見入る 久枝  
潮風や浜昼顔の坂登る 容子  
デデポーポー雉鳩鳴いて野辺に夏多加正  
溽暑溽暑雀が庭をかけまわる 和子  
被爆石ヒロシマの名を噛み締める月子  
あぢさゐの色にこだはり雨の中 保雄

02790-9-65384